

人口減少対策特別委員会

人口減少の中でも 豊かに暮らせる社会への取組

安田 佳世



人口減少に対する考え

- 人口減少に歯止めが掛からない現状。
今後とも深刻な人口減少、少子高齢化が予想される。
- 人口減少は本当に悪いことなのか？ → 発想の転換
 - 人口減少によるメリット
 - さまざまな適正化
 - 資源が減少している現代においての環境との調和 等
 - 人口減少によるデメリット
 - 経済成長や労働人口について考えると不安である 等
- 人口減少に加えて、コロナウイルス感染拡大による人々の意識の変化
 - 量 から 質 へ
 - 手軽さ から こだわり へ
 - 決められた安心感 から 多様性が認められる自由 へ

人口減少の中でも豊かに暮らせる社会への取組（1）

「義の心たすけあいシステム」をつくる

- ・身の回りのことを手伝って欲しいという人と、誰かのためにボランティアをしたいという人の マッチングサービスをつくる。例えば、家の周辺の除雪や草刈り。地域のクリーン活動など。
- ・ネットを利用して気軽に登録できるようにする。また、市役所窓口で代わりに登録をすることもできる。
- ・報酬は無し。将来的には、マッチングした人同士での相談や、システムを使ってボランティアを行った際に地域通貨をプレゼントする、などの発展を期待する。

❁最近、人々の地域での繋がりが希薄になっていると言われている。しかし、その中でも「人と繋がりたい」「人のために何かしたい」と思っている人はいるはず。繋がりができない原因の一つには、繋がりをつくるきっかけがないことが考えられる。そのきっかけの一つとして、本システムを提案したい。

❁人口減少により、高齢化が進むと同時に、労働人口や地域のために働いてくれる世代が少なくなっていくことが予想される。そのような中で、共助に資するシステムを構築することが必要だと考える。

❁今後、ボランティアの人手不足の中、ボランティアが無償で成り立つのかという議論もある。本システムは、その後の形として、有償ボランティアや地域通過の発行などに発展させることもできると考えている。それらについても合わせて議論していく必要がある。

人口減少の中でも豊かに暮らせる社会への取組（２）

地域ごとのデザインを上越市全体としてのデザインと 市民とともに考える

- これからの上越市を考えるときには、「上越市全体」という視点と、「地域ごとの特徴や役割」という視点の両方から考えていかななくてはならない。
 - 行政だけで考えるのではなく、市民と意見を交換しながら、上越市民にとって何が良いのかを考えていきたい。
-
- ❁ これまでに行ってきた合併に囚われ、「上越市」全体として意識がなかなか醸成されていないのではないか。思い切って、「上越市」という枠組みで色々なことを考えていかななくてはならないと思う。
 - ❁ 一方で、これまでの歴史や文化、各地域が担ってきたものがあると思うので、それらは「上越市全体」とはまた別の視点で考えていくべきだと思う。
 - ❁ 行政の施策をはじめ、様々なことについて、「上越市全体」という視点で考えるのか、「地域ごとの特徴や役割」という視点で考えるのか、その点をはっきりさせて議論していくことが必要ではないか。